

料金別納

ゆうメール

【返還先】

(有) 洲野陶磁器原料
〒849-1426 嬉野市塩田町
五町田乙 287-1

磁器 シキよまんば!

2024.12
40

[早くよまなきゃ!]

巻頭のあいさつ

岐阜県窯業原料協同組合さまに伺いました

10月23日、岐阜県多治見市笠原町に事務所を有する岐阜県窯業原料協同組合さまのお招きにより、佐賀・長崎・熊本など当社の近隣における窯業界の現状についてお話する機会をいただきました。

食器とタイルの分野で、ダントツ日本一の生産量を誇る美濃地区の方々の前で、当社の話をするのは恥ずかしいかぎりでしたが、九州の状況を知っていただくため、そこはこ

えて話をさせていただきました。

お話しした内容は、われわれの地域での分野ごとの生産量、原料使用量、食器に関しては、その多くが天草陶石であること、分業によって成り立っていること、そして今後の課題等について、私の知り得るところをお伝えしました。



加藤理事長、伊藤副理事と



質疑応答や名刺交換、その後の懇親会で個別にお話しさせていただくと、後継者問題や人手不足など、産地の規模の大小問わず、直面している課題は似ているものが多いと感じました。

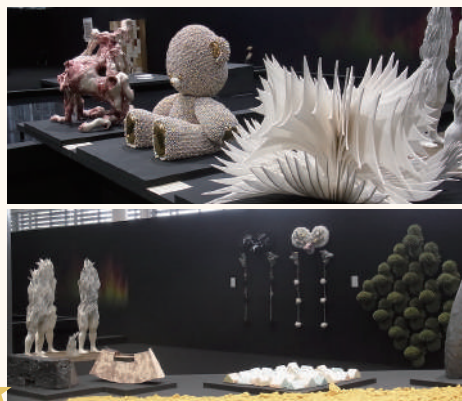
課題の中で大きく違うのは原料事情。美濃の鉱山の枯渇が深刻なのに対し、天草陶石はその心配が無い点です。採算面で継続可能かどうかの問題はあるものの、無くならないのはありがたいです。

多治見を訪れたのはおそらく8年ぶりで、久しぶりにお会いする方も多く、私が来るということでお越しいただいた方もあり、とても楽しい時間になりました。

加藤理事長はじめ、みなさまには本当にお世話になりました。ありがとうございました。機会を作って今度は遊びに伺いたいです。

翌日、翌々日は取引先にご挨拶や工場見学に伺い、技術力や設備の差を痛感し、改めて自分がまだまだであることを認識させられました。

気を引き締めて取り組んで参ります。 洲野直幸



▲矢次さま入選作品



国際陶磁器
フェスティバル
美濃'24



多治見ではちょうど3年に1度の国際陶磁器フェスティバルが開催中でした。すべての会場を回るとは出来ませんでした。が、第13回国際陶磁器展美濃に行ってきました。

さまざまの工夫を凝らした作品がたくさん展示されていました。大きなデザイン、緻密な細工などなど、終始圧倒され、驚きの連続でした。当社のお客さまの作品もあり、興味深く見ることが出来ました。



緑ヶ丘美術館に行ってきました♪

岐阜県からの帰り、奈良県生駒市の緑ヶ丘美術館に立ち寄り、「色彩と模様のハーモニー」色絵磁器 前田正博展を鑑賞しました。

幾何学模様と重ねた色、それに伴う多くの焼成回数。そんな大変さを感じさせない作品の明るさ、あるいはカッコ良さ。展示には現在の作品だけでなく初期の作品も含まれており、今回も素晴らしい紹介映像からのスタートでした。

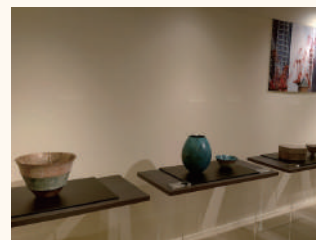
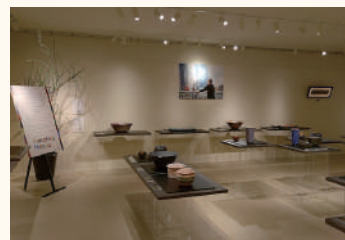
別館では、「歴史と共に生きる引き継ぐ思いを新たな九谷に」と題し、家業を継いだ7名の作家さんたちの展覧会が開催されていました。

7名の中にお取引いただいている方はいらっしゃいませんが、どの細密描画もため息しか出ませんでした。

前田正博展、九谷展ともに 12/22（日）まで開催中です。お近くにお越しの際は、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



お茶とお菓子が
前田さまの作品で



緑ヶ丘美術館別館



九谷展

会長さんの 昔話 (番外編)



当社が紹介
された号です!!

取材にいらした
田中彰さまの撮影



9月14日の朝日新聞佐賀県版に当社が掲載されました。今右衛門さんからスタートする「天草陶石ものがたり」13回シリーズの第3回で、私の昔話や息子の進学理由などを取り上げていただきました。

朝品新聞デジタルだと無料ですので、よかったらお読みください。

1回
人間国宝の心つかむ
「格別の白」



2回
黒斑消した
地球の営みの奇跡



3回
捉えた時流
家業繁栄にまい進



4回
「父直伝」の手作業
職人の一徹



5回
技術の伝承へ
後輩育成に注力



6回
白究める釉薬
資源配慮し開発



7回
30年前の緑
人生の節目に再会



8回
居心地のよい土
帰郷で再認識



9回
指透ける
薄づくり酒器に挑む



10回
産地の常識
探究心ではね返す



11回
磁器産地の絆
集団就職で太く



12回
窯業の未来見据え
名家の決断



最終回
採掘と窯元
島発展へ二人三脚



ニュースレターの送付停止はホームページから簡単にできますのでご利用ください。▶▶▶

有限会社 淵野陶磁器原料
〒849-1426

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

みなさま、今年も「ジキよまんば!」をお読みいただき。
ありがとうございました!良いお年をお迎えください!

淵野 陶磁器



<https://www.fromform.jp/>